

梵鐘

指定区分	県指定重要文化財(工芸品)
読みかた	ぼんしょう
所在地	津山市小田中 安国寺
指定年月日	平成17年3月11日
解説	<p>竜頭は双竜式で彫りも深く、相貌に迫力がある。鐘身上部の乳の間に小さくて古風な茸形の乳を配列し、池の間四区に銘文を陰刻している。銘文によると、永和3年(1377)に久米南条郡長岡(現、津山市金屋)の鑄物師百済源次によって、「作州高倉県」(現、津山市下高倉付近)の寄松山多聞寺の梵鐘として制作されたものである。その後の経緯は不明であるが、追銘によれば、延享2年(1745)に下高倉の畑の土中から発見され、小田中村の善福寺に寄進されたことが判明する。</p>
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	